

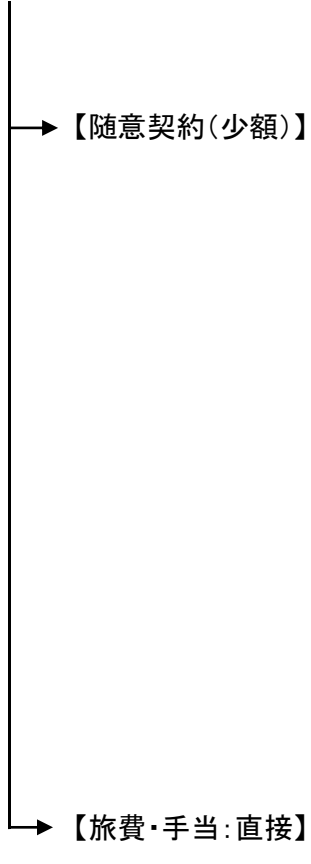
平成23年 行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	科学の役割についての普及・啓発		担当部局庁	日本学術会議事務局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	-		担当課室	企画課長		清水誠		
会計区分	一般会計		施策名	20-③ 科学の役割についての普及・啓発				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	日本学術会議法		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本学術会議法第2条に基づき、わが国の科学者の内外に対する代表機関(全国約84万人の科学者の代表として選出された会員210名と連携会員約2,000名で構成)として、公開講演会等を通じ、科学の役割について国民の認識を高めることで科学の向上発達を図り、行政、産業及び国民生活に科学を反映浸透させること。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日本学術会議会員等が講演、パネルディスカッション等を行うことを通じ、学術の成果を国民に還元するため、日本学術会議主催公開講演会を開催する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	10	5	3	3	3	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	10	5	3	3	3	
		執行額	13	5	3			
	執行率(%)	130%	100%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)	
	日本学術会議主催公開講演会等の開催・公開講演会等の開催件数		成果実績	回	4	5	4	-
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	日本学術会議主催公開講演会等の開催・公開講演会等の開催件数		活動実績(当初見込み)	回	4	5	4	(10)
						(4)	()	
	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
			活動実績(当初見込み)			()	()	
	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
			活動実績(当初見込み)			()	()	
	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
		活動実績(当初見込み)			()	()		
単位当たりコスト	836千円(円/回)		算出根拠	3,345千円÷4回				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	会員手当	0	0					
	諸謝金	0	0					
	職員旅費	0	0					
	委員等旅費	1	1					
	庁費	0	0					
	国会図書館支部庁費	2	2					
	計	3	3					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>【成果指標の達成状況の検証】 成果指標「公開講演会等の開催件数」については、一般国民を対象にした学術会議主催公開講演会「日本語の将来」など、計4回開催した。</p> <p>【今後の方向性】 平成23年度より公開講演会を発展的に改組し、国民との直接的・双方向的対話を図るため「学術フォーラム」として予算を拡充し、学術的香気が高く、かつ市民の興味を引くテーマを選定するなどより一層充実させる。</p> <p>【執行状況・資金の流れ】 日本学術会議主催で行われる公開講演会等の出演者に対する手当、謝金及び旅費について関係法令に基づき各個人に適切に支給している。 また、公開講演会等に必要ポスターの印刷などについても、適切な契約手続きを行い、受注業者に対して職員が指導・監督を行える体制をとっており、予算の支出先・使途の把握については、十分な水準になっている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
予算の効率的執行の観点から、アンケート調査票の印刷製本費を削除し、また、会場借料について、使用会場のレベルを下げ減額を図ることとした。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

日本学術会議事務局企画課、
参事官(審議第2担当)
3百万円

〔 学術の成果を国民に還元する
ための公開講演会の開催に必
要な経費等 〕



A. 民間企業(7社)
1.7百万円

〔 国立国会図書館支部図書館の資料購
入経費 〕

B. 民間企業(2社)
0.1百万円

〔 主催公開講演会ポスター印刷経費 〕

C. (株)太陽美術
0.04百万円

〔 主催公開講演会の立て看板用差し替え
幕購入経費 〕

D. 日本ペプシコーラ販売(株)
0.002百万円

〔 主催公開講演会における飲料の提供業
務 〕

E. 会員・連携会員等(105人)
1.5百万円

〔 会員・連携会員等の旅費・手当 〕

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

(注) 計数は原則四捨五入によっているため、資金の流れ別紙の合計とは合致しないものがある。

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。使途と費目の双方
 で実情が分かるように記載)

費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)文研堂書店	定期刊行物購入	0.7	随意契約	
2	(株)ぎょうせい	現行日本法規購入	0.4	随意契約	
3	海外新聞普及(株)	FOREIGN AFFAIRS等購入	0.4	随意契約	
4	第一法規(株)	国家公務員六法等購入	0.1	随意契約	
5	(財)日本学術協力財団	学術の動向購入	0.04	随意契約	
6	(株)日経BPマーケティング	日経パソコン購入	0.01	随意契約	
7	(株)日経ナショナルジオグラフィック	ナショナルジオグラフィック日本版購入	0.01	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)双文社	公開講演会「高レベル放射性廃棄物の処分問題解決の途を探る」等ポスターの印刷	0.1	随意契約	
2	(株)成光社	日本学術会議主催公開講演会「日本語の将来」ポスターの印刷	0.04	随意契約	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)太陽美術	「高レベル放射性廃棄物の処分問題解決の途を探る」等立て看板用差し替え幕	0.04	随意契約	

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本ペプシコーラ販売(株)	会議等に供する飲料の提供	0.002	随意契約	

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A				
2	個人B				
3	個人C				
4	個人D				
5	個人E				
6	個人F				
7	個人G				
8	個人H				
9	個人I				
10	個人J				